

平成30年度水道技術基礎研修の実施結果について

目的	団塊世代の大量退職により水道事業に従事する職員の世代交代が急速に進んだことや、コスト削減に伴う水道従事者の削減等により実務経験の少ない職員が増えていると推察されることから、水道従事職員の知識・技術向上を目的とした研修会を開催する。		
<b>講義研修</b>			
研修概要	内容	講師	日時・場所・受講対象
	1 水道一般	公社職員	日時：平成30年10月25日(木)、26日(金) 会場：愛知県水質試験所 対象：愛知県営水道受水団体協議会会員 47名
	2 水処理と水質管理	愛知県水質試験所長	
	3 酸素濃度計操作・残留塩素測定・漏水探知機操作	公社職員	
	4 送配水管の耐震について	日本ダクタイル鉄管協会	
	5 耐震管の説明	日本ダクタイル鉄管協会	
	6 配水管理について	豊橋市職員	
アンケート結果	<p style="text-align: center;"><b>理解度</b></p> <p style="text-align: center;">0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p style="text-align: center;">■ 1：十分に ■ 2：概ね ■ 3：今ひとつ</p>		
	感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道の歴史や法律、概要などを知ることができた。</li> <li>・水道の水質検査や水質基準等の説明がわかりやすくてよかった。</li> <li>・操作を行う時間が短かったため、十分に操作方法を理解できなかった。</li> <li>・ダクタイル管の特性等、分かりやすかったです。</li> <li>・各市町によって業務への取り組みや対応方法が異なると思うが、他市の業務内容を知ることのできるいい機会となった。</li> <li>・水道事業に携わって1年目の自分にとっては、とても勉強になり受講してよかったと思いました。</li> </ul>	
改善意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座学よりも漏水探知機の操作などの実務的な内容がもう少し多いとより良いのではないかと感じました。</li> <li>・機器の使い方だけではなく、現場実演などがあるとよかった。</li> <li>・年度の初めの方に受けられたらもっとよかった。</li> <li>・資料の文字が小さかったり潰れていて読めないものがあるので、改善してほしい。</li> <li>・図や写真が多いのでカラー印刷が良かった。</li> </ul>		
新規要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水理設計・水撃圧・一体化長さの詳細な講義</li> <li>・PリンクやGリンクについても実習</li> <li>・設計演習、計算などの講義や水道管布設の現場研修</li> <li>・水道施設の維持管理について</li> <li>・水道法について詳細な説明</li> <li>・ポリエチレン管等の講義</li> <li>・他市町村職員と意見交換できる時間</li> </ul>		
研修状況	水処理と水質管理	耐震管の説明	酸素濃度計操作
	残留塩素測定	漏水探知機操作	配水管理
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義研修はH25の試行を経てH26から継続しているが、今年度も好評だった。</li> <li>・H29より、対象を全団体（過去は隔年）としたが、混乱がなかったため、今後も全団体とする。</li> <li>・過去のアンケートも含め、意見・要望を参考に改善していく。</li> </ul>		
今後予定	受講対象者	愛知県営水道受水団体協議会会員（42団体）の1～2名	
	開催場所	愛知県水質試験所（愛知郡東郷町大字諸輪字北木戸西48-265）	
	開催時期	10月中下旬の2日間	